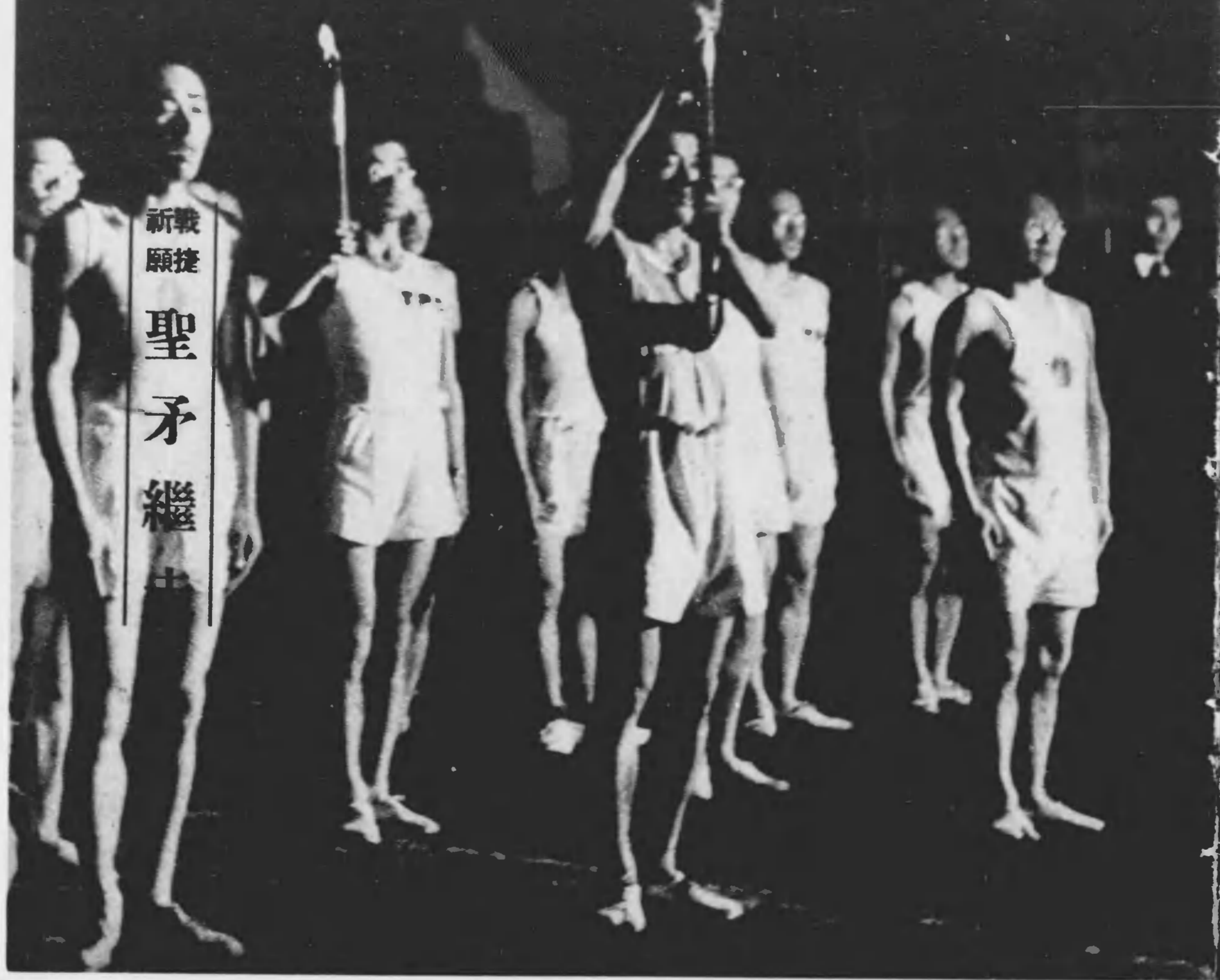
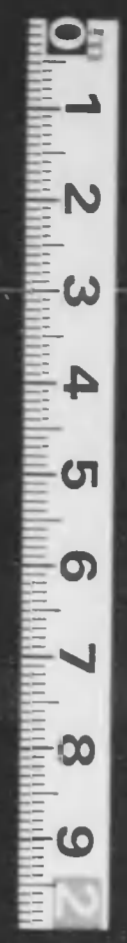


寫眞週報

內閣情報部編輯
十一月十六日 第十四號 十七

昭和十三年十一月十六日發行（東京：國文堂發行）第十四號



新戰
願捷
聖
矛
繼
士



十一月六日、國民精神作興會
大會終日、各官廳の職員三千人
を動員した大規模のラジオ体操
秋風は激投擲學生に冷たかに降り
そよぎ、国旗を翻る校旗の叫びは
外夷の旗に大きくこだまする。
撮影 相澤 敏一

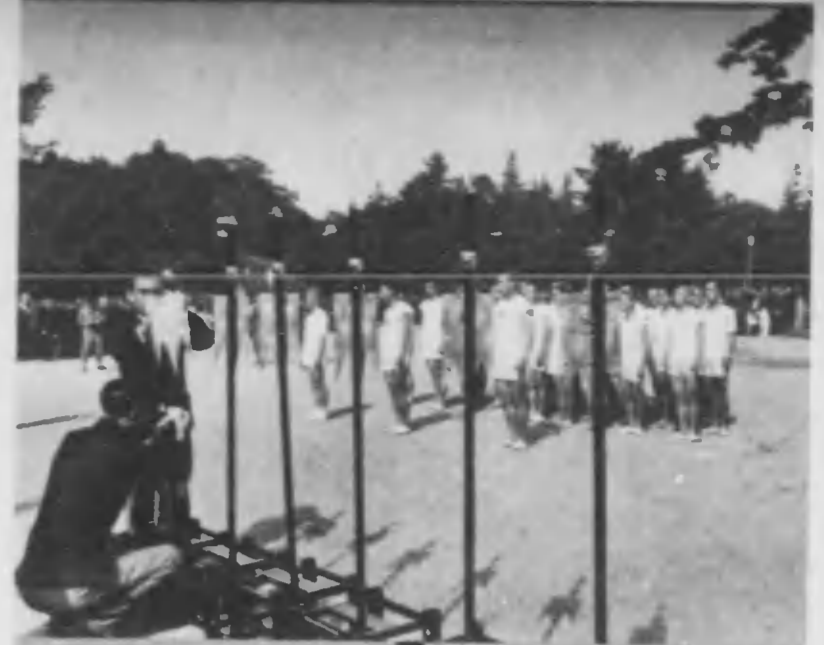
支那事變貯蓄債券

十二月五日—二十日

四百五、四千金増割 四五、四十四

行銀華中

伊勢神宮に最初の矛の奉納を終ると、選士らは白のユニフォームに着替へて四日午前十一時半、治産場で出発式を挙行政した。



金色燃然と輝く六本の聖矛の内明治神宮に奉獻する分は、平沼日本陸上競技聯盟会長から第一正選士神宮皇學館富田利正君に渡された。



五日午前零時三十七分聖矛は熱田神宮の大前に到着、名古屋商工會議所副會頭高松定一翁から宮司を経て奉納された。



月明を一杯に浴びて東海道をひた走る聖矛が、崎市をすぎるころ、壯麗な曙光が手に輝きはじめた。



五日午前七時五十七分、愛知、静岡縣境の境橋上で、聖矛は愛知縣選士の手から静岡縣選士の手へ引き継がれた。



濱名湖を左に眺め、濱松市をすぎれば、天龍川の鐘橋にさしかかると、聖矛を維持して走る静岡縣中野町村の少年選士たち。



更に掛川をすぎ、登峰富士の高嶺を左に大井川を渡れば鳥田の宿だ。縣の名譽にかけ、村の名譽にかけて若人の健脚は走りつづける。



炬火を先頭に晩秋の夕霧を衝いて奮進する聖矛は静岡市に入つた。衛團のとなへる一六根清浄のかけ聲が力強くあとに従ふ。



聖矛は神奈川縣にリレーされ、六日午前十時鐘倉八幡宮に到着。選士團一同心から國國の武神に國威宣揚、武運長久の祈願をした。



神都から帝都へ、伊勢路、東海道五百キロを二日あまりで一週に突走つた聖矛はついに宮城前賣に届いた。



短距離百米の王者吉岡謙三君の手に捧げられ、東京市長の嵐の如き歡呼と感激の中を聖矛は勇躍進み行く。



既に暮色濃き中に炬火赤々と燃え、今やおそしと待ちかねた神宮外苑競技場にマラソンの観客陣と基願君は金色に輝く矛を高々とかざして現はれた。



戦捷祈願 矛リレー

國民精神作興大會から
 長期建設に備へて戦後青年の體位向上をめざす國民精神作興大會は、菊花賞の佳節として、十一月六日まで四日間開催され、殊に最終日の六日には、長も秩父宮殿下を神宮競技場に迎へ、若人の意氣高らかに帝都の秋をかざつて、スゴ1ツの豪華陣をくりあげられた。その中にも戦捷祈願矛リレー大会は、戦後の國民精神作興に最もふさわしい試みとして、數百萬老若男女の血を湧き立たせ、感激の拍子に、大會の旗手を飾つた。戦捷祈願矛リレー大会は、一府四縣二百三十一區の選士、衛團一萬五千餘名を動員、四日午前九時伊勢神宮に最初の聖矛を奉納して同日正午宇治橋前をスタート、金色旗として、六本の聖矛は、秋深む伊勢路から東海道を五百キロ、東へ東へと夜を日についで、各町村で次から次へと継ぎつた。結城神社、熱田神宮、三島神社、静岡八幡宮、神宮神社、一基づつ夫々戦捷祈願の赤旗を掲げて奉納され、六日夕刻炬火赤々と燃える神宮外苑競技場に到着した。スタンドを埋める大觀衆の感激の拍手をあげ、秩父宮殿下の御前をすぎ、最終コースに入り、午後五時五十分明治神宮神城に到着、聖矛は神皇深く奉納された。





隻脚に踏む更生のペダル

東京牛込区若松町の臨時東京第一陸軍病院で、重い戦傷病の身を要養中の白衣の勇士のうち八十七名の隻脚手の勇士は、漢口陥落を記念し、自分たちももうこんな立派な身体になりましたと銃後國民にその健氣な意氣を示すべく、十月廿九日、堂々自轉車行進を行った。

涙ぐましい感激で日の丸の旗をうち振る見物の人々に壯行を送られながら勇士たちは健康の人同様、すばらしいスピードで元氣一ぱい三時間の行進を終へた。

澄利たるべき人生再建への頼もしい序曲だ！日本の強い力はこのにある。

十月廿九日、漢口攻略祝賀の第三日、白衣の勇士たちは、増田社に今は國國の英雄と祀られてゐる懐かしい戦友たちの前にゆかづいた。

武漢はおちました、われはあかびで、こんなに立派に恢復しました。

義手も義足ももうほとんど不自由しません。快速行進でハンドルにぎる手もペダルも足も、全身汗ばんで大膽の追撃戦を思ひ出しました。

増田社で小憩の隻脚手の勇士たちは愛國婦人會員、在郷軍人會員もてな

増田社から午後二時、二重橋前に到着。宮城を禮拜の後、日比谷公園、陸軍省を経て新宿から同四時、第一陸軍病院にゴールイン。

三原軍醫中佐指揮の下に、二中隊に分れて進む勇士たちの行進は整然としてお

撮影 古賀乾一



漢口に拜す明節



撮影
同型映畫部

漢口の大通りを歩
武裝々、海軍樂隊
の勇壯なマーチにつ
れ軍靴の響きも高ら
かに分列式に移る。

舊支那軍飛行基地
台東の東久通宮殿下
手前にもつは支那
空軍が遺棄した三百
キロ爆弾、ナール
の上には同じく支那
の地雷。



武漢陥落後、敵軍の巨歩は留
まず、敵艦の捕獲、環漢路が大陥
るところに備けられ、結果は四所
擴大されてゐる。
漢口突入の精銳部隊はあらゆる
犠牲を耐へた。市内降参も一鼓
落した十一月三日、明治の徳川、最
重な献賞式を行った。



長江上の壯麗な列
艦式を終つて午後二
時、漢口三要橋橋に
上陸する陸海の将星

日本租界第一特別
區のバンド一帯に整
列、閱兵式に入る海
軍陸軍師団長

漢口攻め以来の好天
氣、菊花かほる十一月
三日、現地祝賀式は日
章旗と軍艦旗に飾られ
たパレス・ホテル屋上
で、東久通宮殿下、賈
陽宮殿下をはじめ奉り
中支派遣軍最高指揮官
畑大將、支那方面艦隊
司令長官及川中將以下
陸海將星、幕僚一堂に
集まり、厳かに執行さ
れた。神内は畑大將。



答 その一

私は東京神田の食料品店の店員です。この間のお休みは主人につれられて、店のもの五人全関東府商店会の商店法施行記念商業青年講演會に出席しました。會場は神宮外苑の日本青年館で、午前九時には私達のやうに店主につれられた店員が青年館の前をまわつて埋まりました。千五百人も集まつたといふことです。九時半列を作つて明治神宮に参拜、皇軍の武運長久をお祈りして十時半青年館に歸り、十一時から、「彼等の夏」「航空少年」などの映畫を見、午後は陸海軍のえらい方などから「瀨口攻略」についての國民の覺悟」又「店員と店主の間柄」といふお話をききました。私達店員の休業と敬業のために布かれた商店法の趣旨をよくわきまへ、折角長くお休みを賜用して、私達青年は今後の長期建設に大いに邁進をねばならぬと思ひました。

撮影 内閣情報部



公団を親破算で

商店法實施報告

明治神宮に参拜する私達の列は長く長くつゞきました。商業青年部隊です。以前のやうに何もならない丁稚小僧であつてはならない。御國のために働く商業青少年だといふ自覚を持たねばならぬと思ひました。

私の兄さんは中支の戦線に活躍してゐます。主人の弟さんもさうです。忙しいので神宮にも仲々お参りが出来ませんが、今日が今日の本當に心をこめて武運長久を祈りました。

神宮参拜を終へ私達が青年館に歸ると、やがて映畫が始まりましたが、私達の講演會は私達の手でやらうと、受付も、會場の整理も掃除も、誰に命ぜられることなしに進んで自分たちでやりました。

面白かつた映畫がすむと、會場で辨當を開きました。今朝店のおかみさんが作つて下さつた日の丸辨當を大きく頬張りました。食糧の乏しい戦線で、兄さんたちは何を食べて進軍してゐるでせうと考へながら。





答 その二

撮影 内閣情報部



豊島園は小学校の頃何度も行ったなつかしい所です。店員になつてもう三年になりますが、今日のわたくしたちはすっかり小学生の音にかへりました。わたくしたちより一足早く来た連中の騒ぎが木立の向ふから聞えて来ます。

ぼくのお店は東京荏原の奥座敷です。ぼくらは豊島園のグラウンドで運動會をやりました。東京雜物小賣商組合の主催で全市のぼくらの仲間千二百人が御主人と一緒に集つたのです。それは大騒ぎでも楽しいお休みでした。商店法が出来て、大喜びだつたのに、その最初のお休みが運動會だと御主人から聞いたとき、ぼくらは思はず萬歳をとなへました。うれしくて夜も中々おねむれませんでした。ぼくらのお店では御主人以下八人、御旗堂をしこたま持つて出かけた。ぼくが一等をとつて見せる一と詰々大した張り切り方です。九時半から競技開始、ぼくは區對抗の八百米リレーとパン食ひ競走に出ました。パン食ひ競走では惜しくも破れましたが、リレーでは皆を離して断然優勝して、優勝旗を獲得しました。三時に全部すんで、皆仲よく手紙話をしながら歸りました。本當に、お休みでした。



御主人たちの二百米競走は全く見ものでした。勿論ぼくらの御主人も出ました。お隣りの御店の御主人も一俺は子供のとき以来駆けつこなんてしたことがないんだが、といひながらも、尻はしよりを出しました。用意！この張り切り方を御覽下さい。

ドン、とピストル一發、うちの御主人はえらい勢でスタートを切りましたが、カーブにきたとき隣の人とぶつかつてアツといふ間に轉んでしまつたんです。しかしすぐ起きあがつて又駆け出しました。たう／＼二着でも御主人はえらいです。

パン食ひ競走といふやつはどらも音から苦手なんです。兩手を結へられてぶら／＼するパンを食ふつてことは實際六ヶ敷いですが、わい、わいと皆がそばではやしたるとあわて出して益々早く食へないんです。

女子のスパリンレース、ぼくたちのお店の千代ちゃん、不敵無口でおとなしいのですが、今日は朝から大したおしやべりになつて、而も驚いたことにはランニングが馬鹿に速いんです。ハンドバウが賞品にもらつてぼくらに見せびらかすんです。



答 三

「たゞ今、お母さん、お土産もつてきたわ」
 郊外にひとり閑借りしてあるお母さんはいつも「奉公に出てる私のことを案じながら、お仕立物をしてられるのです」
 秋の歸ざしがあたかい。久しぶりでお母さんにあんまをしてあげる。「あら、白髪がこゝに二本もあるわよ」



このあひだの火曜日、今月はこれで二回のお休でした。わたしのお店は男の人を入れて、みんなで十七人、食料品とタバコの商店です。前の月はじめのお休みの時はみんな寝ぼけ目で秋川溪谷に遠足に行きました。たいへん心身たんと疲れたと思いました。それで、こんどの方は二人づつ順番で交番でお休みなのです。わたしはお母さんのとこへ久しぶりであひだつきました。シニークルームとエニース喫茶を見にいきました。兩文上履の房をしいました。それから、前Kハガキを出しておいた小學校のときの仲よしのお友だちとおそひました。二人です。それはとてもいんなお話をしたのです。十時にお店へかへりました。



お土産のつくぐだいで親子水いらすのおひるごはん。御飯はお母さんが「今日はお前がお客さんよ」とつけて下さいました。

撮影 内閣情報部

何かお手つだひしませうか。重の中はお母さんのじゆばんや足袋や枕おほひや夕方近所のお休日に出かけました。もう、やさ菜なんか威勢よく買つておきました。買ひもの。あたしの襦、お母さんの羽おりのひも。



「じやあ、さようなら、お母さん、またこんどのお休みの時来るわ」
 「からだに氣をつけてね、お店の旦那やみなさんによろしくね、あんまり疲坊しちや駄目だよ……」
 お母さんのくれたなまきの風呂しきもつて



